



地域おこし協力隊
隊員 塩野目 真実さん

No.19

今月の人

地域のために活動する人や
団体を紹介します

地域おこし協力隊員は、定期間町の委嘱を受け、地域で生活し、地域協力活動などに従事します。5月1日付けで協力隊員に就任した、塩野目真実さんにお話を伺いました。

応募の動機は

大学進学を機に那須町から埼玉県に引っ越しました。一度は埼玉県で就職しましたが、将来的には地元に戻りたいという気持ちがありました。せつかく戻るなら、地元で貢献できる働き方がしたいと考えていたところ、地域おこし協力隊という制度があることを知り、埼玉から戻ることのタイミングがないと思ひ応募しました。

活動状況は

ふるさと納税に関わる活動をしています。道の駅那須高原友愛の森や那須町の2カ所のホテルにふるさと納税ができる自動販売機が設置されました。多くの方に寄附いただけるよう、販売機のポスターを作ったり、SNSで情報を発信するなどしています。

今後の活動は

返礼品の新規開拓をしていきます。現在委託をしている事業者からノウハウを教えてもらいながら、一緒に営業に行けたらと考えています。より多くふるさと納税をしていただけたらという全国に向けてPRしていきたいと思っています。

・那須文芸

俳句 (2022.8月号)

過疎の町洗ひ流して夕立去る
ドアマンの所作にそつ無き避暑ホテル
瑠璃壇の戸帳の開く夏の寺
草競馬柵の外には茄子の花
茄子の花一つ咲いてる鉢の中
冷冷と有明の空茄子の花
晩年を好きに生きたし立葵
蟻地獄朝日に小さき影を成す
山百合の咲き競ひては地に触るる
山百合の雨粒太る森の朝
山開き夜明けの裾野賑えり
茶臼岳白雲纏う山開き
富士山や砂搔き了えて山開き
開山祭の記念の杖よ吾が宝
梅雨明けや天地きよらか気のなごみ
山開き榊払いて無事祈願
花さびた木地師の道の行止り

鮎瀬 汀
松浦 秀文
中島 慶子
藤井 幸子
伊藤 節子
野口 直女
小森 静江
齋藤 照代
平岡 丈子
長島 啓子
岡部 慶子
郷 華
角田富美子
仲川 光風
大島 昇
津田イツ子
田中 思楼

遊行柳投句箱

柳まで草刈ってあり遊行道
かと生まる田は里山を写しけり

宇都宮市
鹿沼市

加茂都紀女
渡辺 加代

短歌

山百合の香たちこめる夏の朝
夫と二人でブルーベリー摘む
父母もなくふるさと遠くなりゆけば
子ら住む那須に親しみてをり

羽深 弘子
守屋はるみ

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 8月19日(金)

■俳句の送付先
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901

表紙の話

地域と共に 魅力あふれる那須高校(7月26日撮影)

8月号から那須高校魅力化コーディネーターによる那須高校の連載記事が始まりました。那須高校は1949年に県立那須農業高校(現・県立那須拓陽高校)の黒田原分校として設立され、今年で73年目を迎えます。
昨年度には、地域で活躍する人にスポットを当てた冊子「那須まち人物図鑑」を作るなど、地域に密着した教育が発見に行われています。連載記事では那須高校の知らない一面を見ることができるとも。ぜひご覧ください。